



博士人材データベース（JGRAD）の パイロット運用状況

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ 総括上席研究官
岡本 拓也



博士人材データベース(JGRAD)構築の背景・目的

- ・博士人材は、持続的な科学技術イノベーションの主たる担い手
- ・博士人材を取り巻く状況は厳しく、かつ社会全体における博士人材の活躍状況の把握・提示がなされておらず、キャリアパスの不透明さを招来
 - ⇒ 優秀な学生が博士課程進学を躊躇
 - ⇒ 科学技術イノベーションの停滞



博士人材のキャリアパスの把握・可視化に向けた取組



継時的・持続的な進路状況把握システム(プラットフォーム)としての「博士人材データベース」(JGRAD)の構築

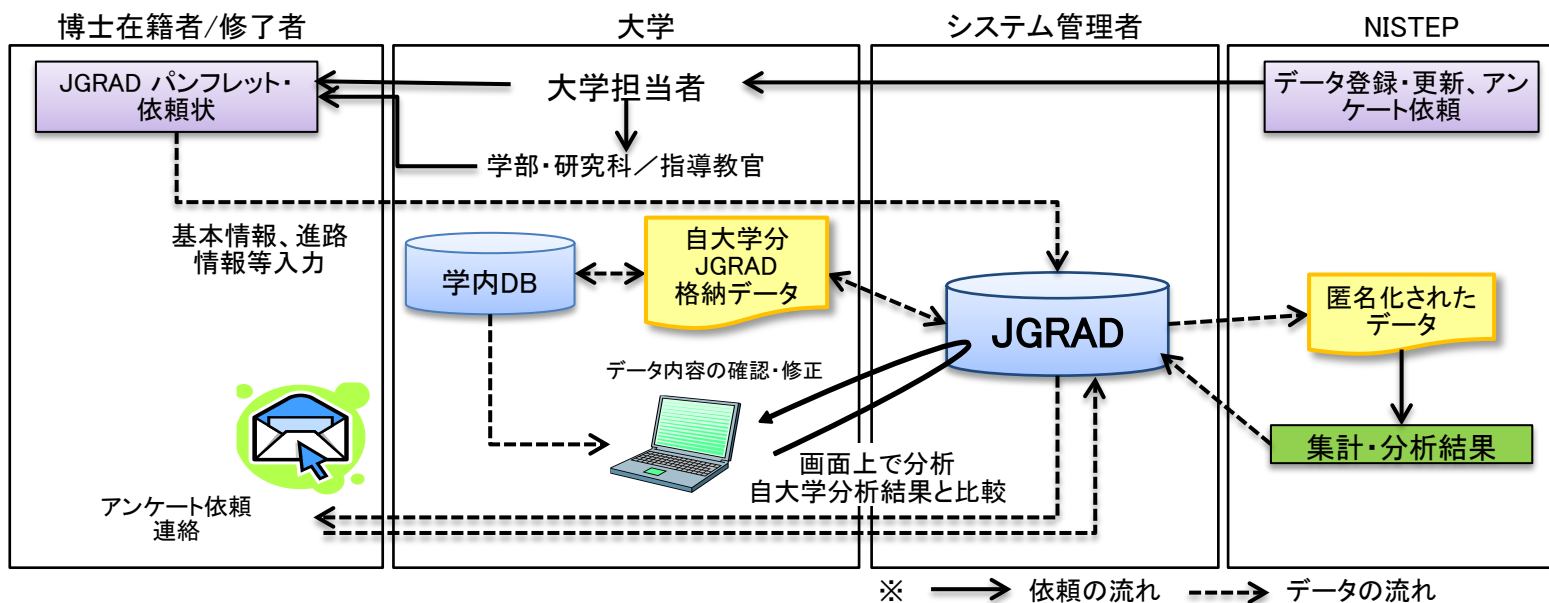


修了年を特定した博士課程修了者全数調査としての「博士人材追跡調査」(JD-Pro)の実施

博士人材データベース(JGRAD)の概略

1. 平成26年度以降の博士課程修了者(年間約15,000人修了)を登録対象者とし、博士課程在籍時の基本・属性情報と博士課程修了後の進路情報を収集する。
— 修了者個人が直接情報を入力・更新する画期的な進路追跡システム —
2. NISTEPは匿名化したデータを収集して進路状況や雇用条件等の分析を行い、各大学にフィードバックするとともに、**博士等高度専門人材の育成のための政策立案に役立てる**。大学は個票データ等を活用し、キャリア構築支援・認証評価等に役立てる。

博士人材データベース(JGRAD)システムフローの例：登録者が博士人材DBに直接情報を入力する場合



人材育成に関する目標設定と結果の把握： 教育研究状況と進路動向の解析により、大学の認証評価や法人評価に必要な人材育成効果のエビデンス・指標を把握

学生・修了者の活動や進路動向の把握： システム上のアンケート機能等を活用した在籍者・修了者の活動や進路動向の把握と適時な支援

修了生とのネットワーク維持： 博士課程修了者ネットワークの構築や同窓会名簿の作成、寄附金募集

自大学と全体との分布比較：

(例) 性別、年齢、学生種別(一般/社会人)、国籍、日本学術振興会特別研究員、学費免除、分野、自大学出身、進路区分、インターンシップ経験等の比較が可能

従来調査の効率化： 文部科学省・NISTEPが実施している、博士課程在籍者・修了者等を対象とした各種調査における事務的な負担の軽減

登録者に対するインセンティブ

(一部は近日提供予定、検討継続中)



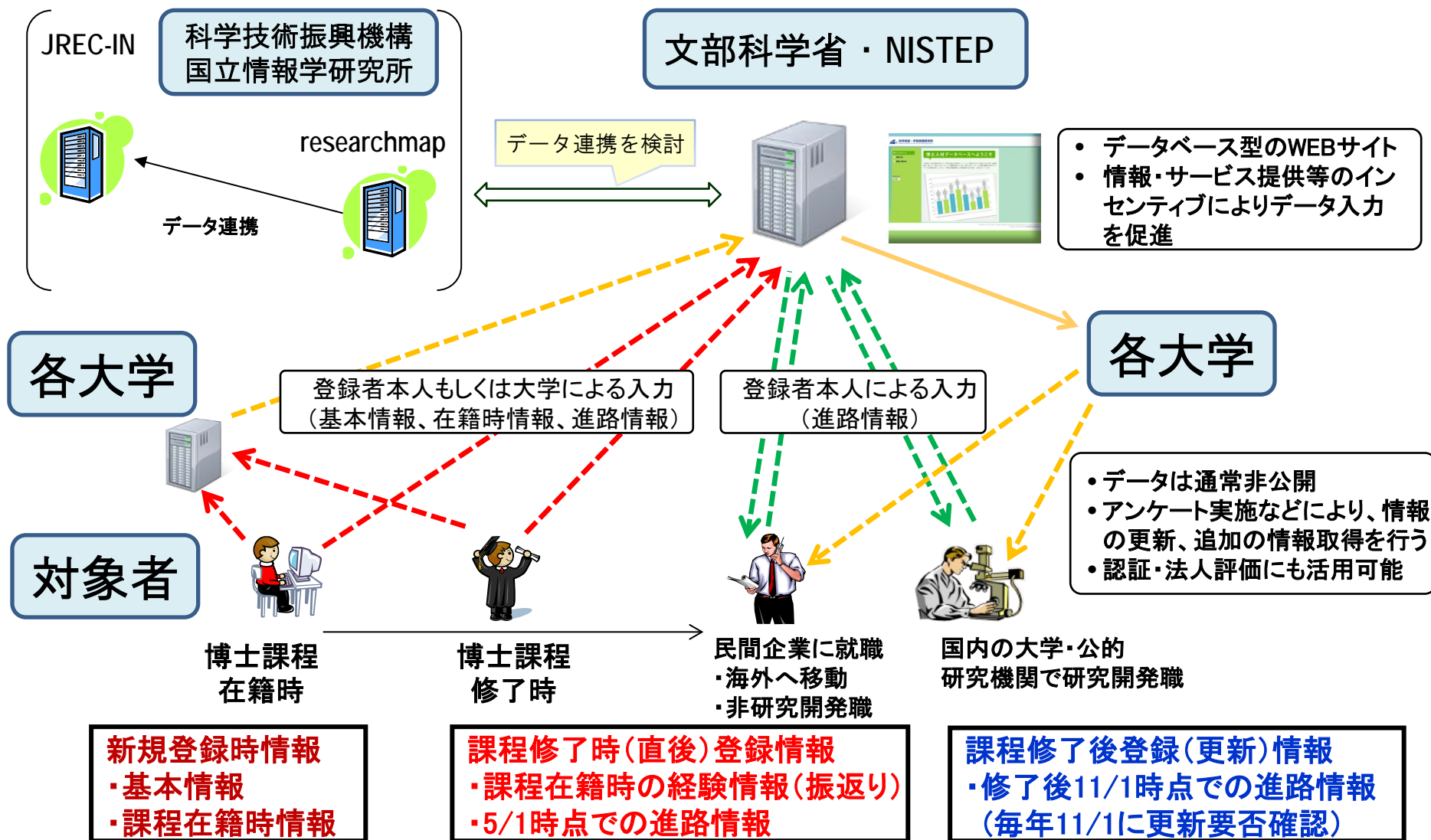
キャリア構築支援: 企業・公的研究機関・大学とのマッチング (自己の能力の発信)、奨学金・ポスト・海外研究活動・インターンシップ等に関する情報の取得

キャリア構築の参考情報: 自校出身他登録者のキャリア情報を個人単位で閲覧・検索する機能により、ロールモデルやメンターの探索が可能

博士間のコミュニケーション: 大学・研究科・所属研究室単位や留学生同士の交流の場としての利用

修了後のサービス: 学位取得証明書・成績証明書の発行依頼、指導教員への修了後の進路情報のフィードバック

博士人材データベースにおける博士課程在籍者・ 修了者からの情報収集の仕組み



博士課程在学中の入力項目

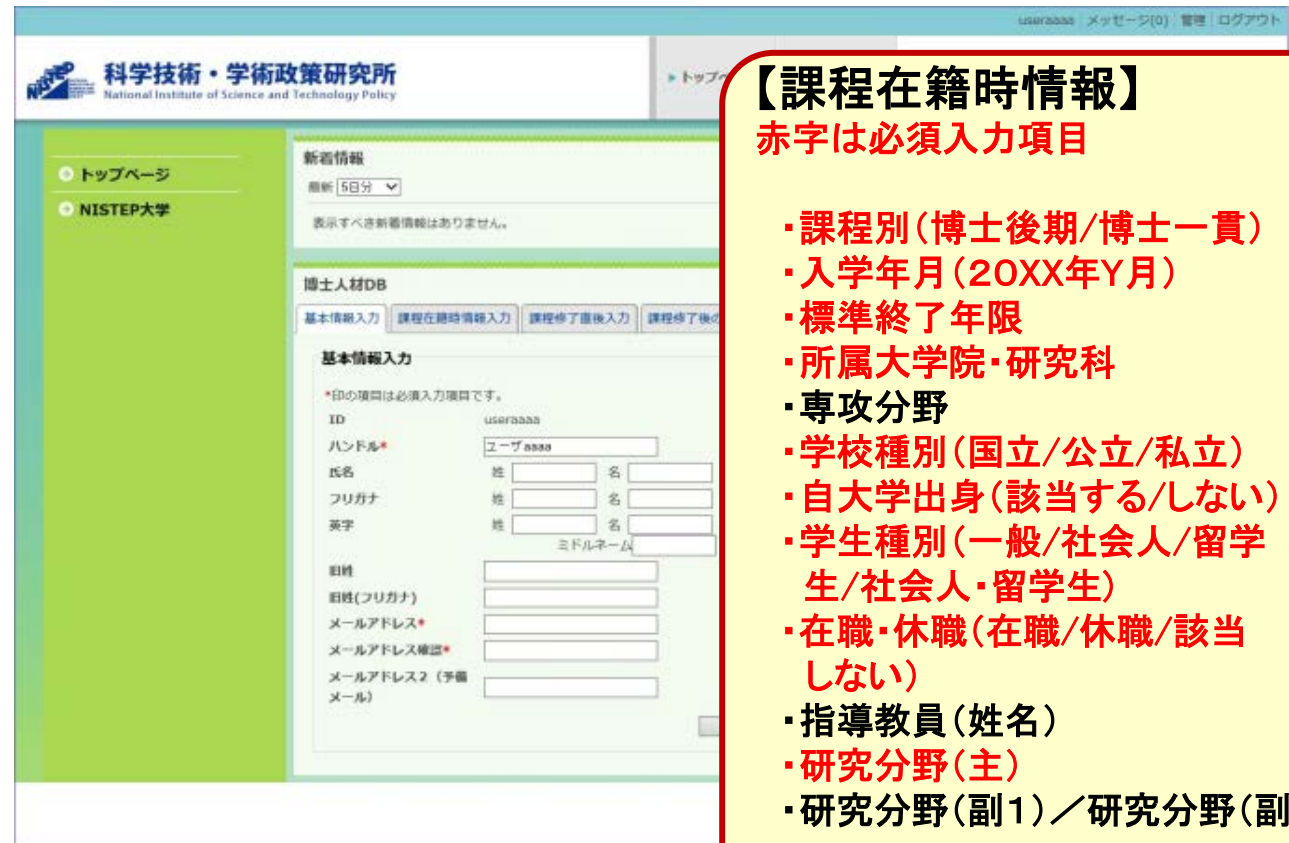
- ① 基本情報(生年月、性別、国籍等)
- ② 課程在籍時情報(所属大学院・研究科、研究分野等)

①、②合わせて
入力所要時間は
10分程度

【基本情報】

赤字は必須入力項目

- ・ID(各学生に付与)
- ・**ハンドルネーム**
- ・氏名
- ・フリガナ
- ・英字
- ・ミドルネーム
- ・旧姓
- ・旧姓フリガナ
- ・**メールアドレス**
(修了後も使えるもの)
- ・**メールアドレス確認**
- ・メールアドレス2(予備)
- ・性別(男性・女性選択)
- ・生年月
- ・**国籍**
- ・パスワード



The screenshot shows the registration interface for the NISTEP database. The header includes the NISTEP logo and the text '科学技術・学術政策研究所 National Institute of Science and Technology Policy'. The main content area is titled '博士人材DB' and contains a '基本情報入力' (Basic Information Input) section. This section includes fields for ID (pre-filled with 'user0000'), Handle Name, Name (with separate boxes for姓 and 名), Furigana (with separate boxes for姓 and 名), English Name (with separate boxes for姓 and 名), Middle Name, Former Name, Former Furigana, Email Address (with a confirmation field), and a secondary email address. A note indicates that fields with an asterisk are mandatory. The left sidebar shows navigation options like 'トップページ' and 'NISTEP大学'.

【課程在籍時情報】

赤字は必須入力項目

- ・**課程別(博士後期/博士一貫)**
- ・**入学年月(20XX年Y月)**
- ・**標準終了年限**
- ・**所属大学院・研究科**
- ・**専攻分野**
- ・**学校種別(国立/公立/私立)**
- ・**自大学出身(該当する/しない)**
- ・**学生種別(一般/社会人/留学生/社会人・留学生)**
- ・**在職・休職(在職/休職/該当しない)**
- ・**指導教員(姓名)**
- ・**研究分野(主)**
- ・**研究分野(副1) / 研究分野(副2)**

博士課程修了時(直後)/修了後

- ・博士課程修了時(直後)の入力項目: ① 博士課程在籍時の経験
② 5/1での進路情報
- ・博士課程修了後の入力項目: 11/1での進路情報(毎年11月に確認)

【博士課程在籍時の経験等】

赤字は必須入力項目

- ・課程修了の有無(修了/中退)
- ・課程修了/退学年月
- ・学位取得の有無
- ・学位取得の年月
- ・取得学位

【課程在籍時の経験】

- ・日本学術振興会特別研究員
- ・学費免除
- ・日本学生支援機構奨学金
- ・査読付論文数(英語/日本語)
- ・国際/国内会議・学会発表(査読付)
- ・上記以外の学会・講演会等発表
- ・その他の成果(著書・受賞等)
- ・特許出願本数(海外含む)
- ・平均的滞在時間/週
- ・平均的学習時間/週
- ・TA/RA経験
- ・海外研究活動経験
- ・インターンシップ経験

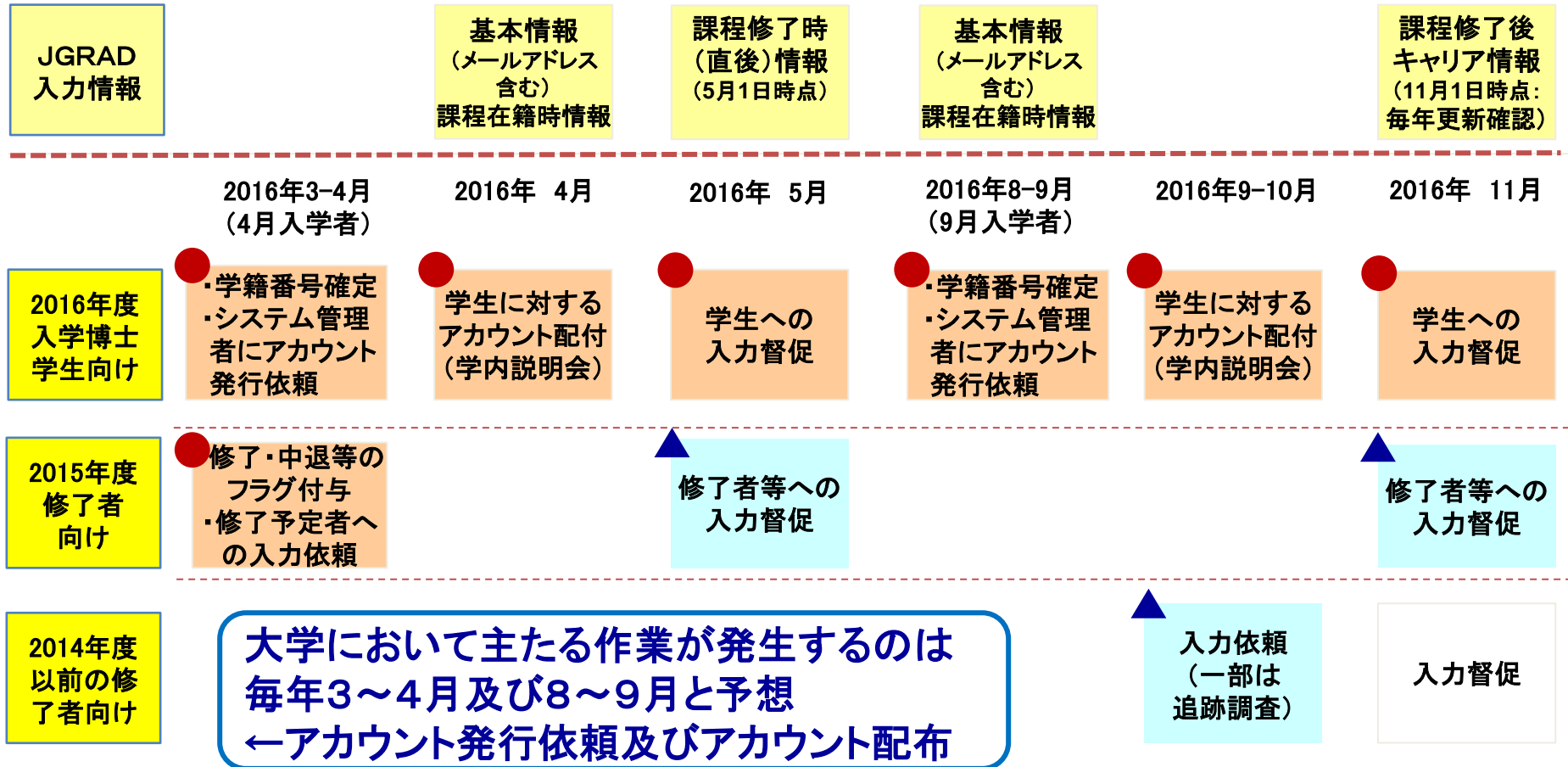
修了直後の5月に入力依頼、同年11月に確認。
以降、毎年11月に更新の要否を確認。

【修了(直)後進路情報】

赤字は必須入力項目

- ・進路情報選択(就労/進学/その他)
- ・有職/復職
- ・複数の仕事
- ・所属開始年月
- ・所属先機関種別(大学等/企業...)
- ・所属先機関名
- ・所属先機関名
- ・所在(国・地域・都道府県)
- ・職種・職位
- ・役職・職名
- ・所定労働時間/週
- ・雇用期間(定め無し/1年以上/1年未満)
- ・雇用形態
- ・産業分類
- ・職業分類

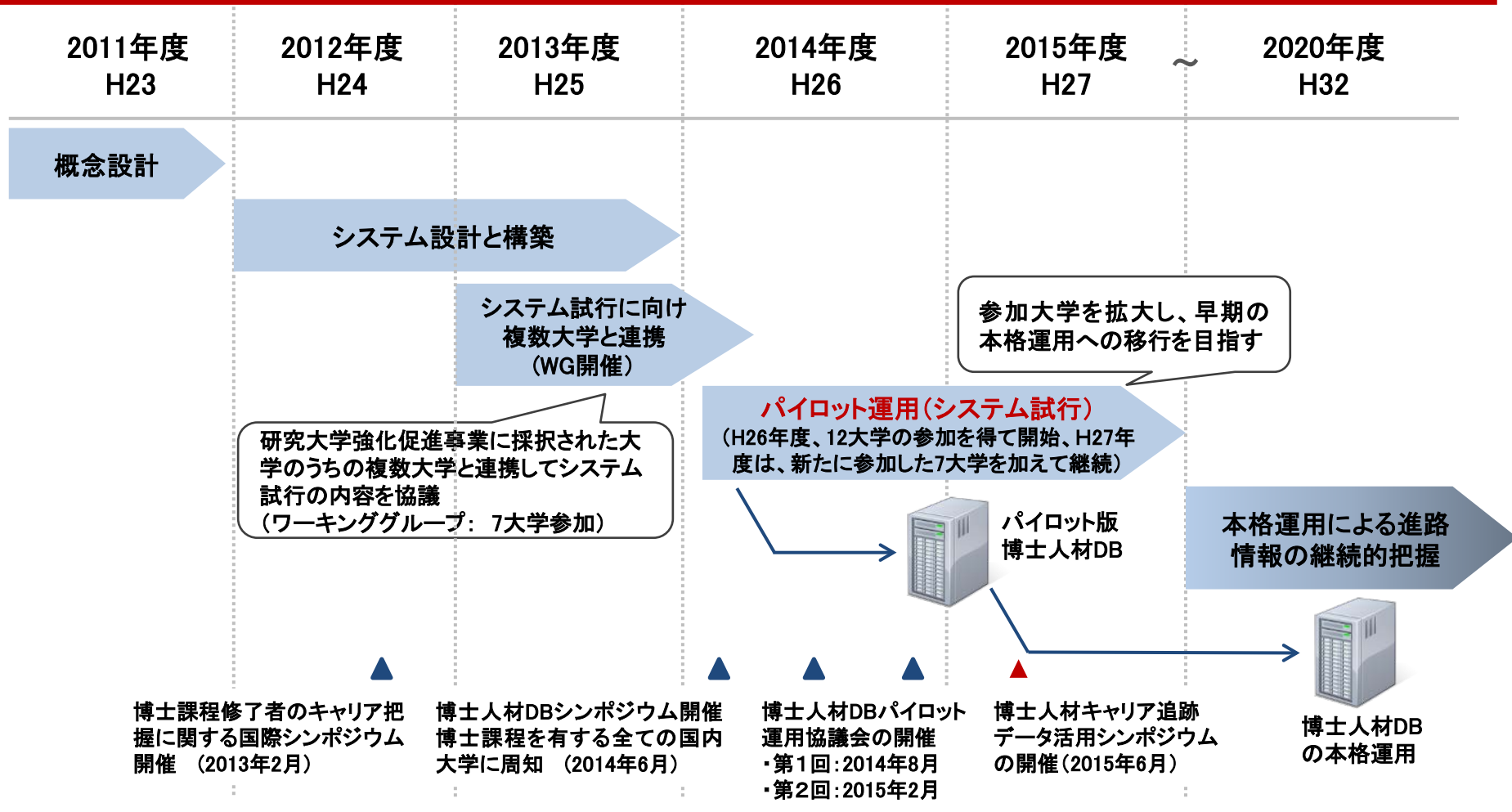
博士人材データベースにおける情報取得に向けた 手続と時期 (2016年を想定)



● : 大学において発生する作業
 ▲ : 大学に協力を依頼する可能性のある作業

博士人材データベースの構築・運用スケジュール

— 現在は19大学参加によるパイロット(試行)運用段階 —



博士人材データベースのパイロット運用への大学の参加状況 (平成27年6月1日時点)



大学名 (位置順: 北から)	後期博士学生数	8/7 パイロット 運用協議会参加	2/2 パイロット 運用協議会 参加	研究大学強化 促進事業	H25年度 WG参加
北海道大学	2,416	○	○	○	○
筑波大学	2,280	○	○	○	
お茶の水女子大学	466	○	○		
東京医科歯科大学	1,118	○	○	○	
東京工業大学	1,553	○	○	○	
東京農工大学	496	○	○		
慶應義塾大学	1,214	○	○	○	○
大阪大学	3,120	○	○	○	○
神戸大学	1,589	○	○	○	○
奈良先端科学技術大学院大学	297	○	○	○	○
岡山大学	1,231	○	○	○	
広島大学	1,668	○	○	○	
東北大学	2,735			○	
東京大学	6,037		○	○	
東京理科大学	285	○	○		
豊橋技術科学大学	108		○	○	
京都大学	3,647		○	○	○
九州大学	2,694		○	○	
熊本大学	710		○	○	
千葉大学	1,226		○		
新潟大学	726				
早稲田大学	2,072		○	○	
電気通信大学	257	○	○	○	
金沢大学	986				
名古屋大学	2,285	○	○	○	○
長崎大学	658	○	○		

※後期博士学生数は平成24年度データ、慶應義塾大学・早稲田大学・豊橋技術科学大学・東京理科大学は平成26年度データ

※上記青字の大学名は平成26年度博士人材DBパイロット運用参加校(12校)

※上記赤字の大学名は平成27年度博士人材DBパイロット運用参加予定校(2015年5月時点で7校)

博士人材データベースのパイロット運用への 大学・学生の参加状況



1. パイロット運用に際し、各大学にて全学科参加／一部研究科参加を選択
(全学科参加) 東京医科歯科大、東京農工大、お茶の水女子大、
神戸大、奈良先端大(課程3年)、岡山大、広島大、
東京理科大、豊橋技科大、東北大 (10大学)
2. 「博士人材データベースのパイロット運用に関する協議会」(平成26年8
月7日、平成27年2月2日)において、システム運用状況・手順等を協議
3. 平成26年10月以降、パイロット運用参加大学において、学内説明会を
開催(慶応大、奈良先端大、北大、岡山大)
4. 第2回パイロット運用協議会(平成27年2月)を経て、新たに7大学が
平成27年度からのパイロット運用への参加を決定
5. 登録開始から現在まで、メールアドレスを含む基本情報を入力した学生
数は1,000名余

1. 博士課程在籍者の入力率の向上

- 平均入力率(メールアドレスを含む基本情報入力者数/アカウント取得者数)は、まだ4分の1弱(22.4%)

〔高入力率大学の例〕 慶應大:63%、北大:62%

⇒ 入力率向上に向けた登録者へのインセンティブ付与

2. 大学による修了者・中途退学の認定(フラグ付与)

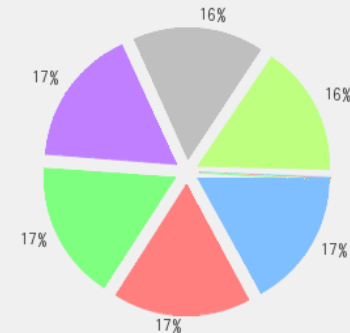
⇒ 博士人材データベースによる2014年度修了者への修了後キャリア動向調査(本年11月実施予定)に必要

クロス条件

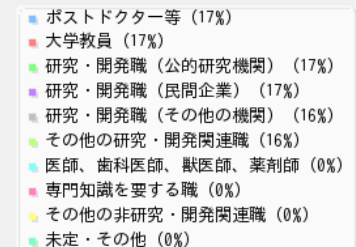
条件1 職種・職位(中分類)

条件2 ー指定しないー

職種・職位(中分類) (n = 100)



JGRAD上に表示された修了後キャリア動向調査結果の想定イメージ例



平成26年度、理工学研究科後期博士課程(300名)にてパイロット運用に参加

【ID受領・説明会の開催】

- ・平成26年9月 : NISTEP/野村総研より、ID・パスワード受領
- ・平成26年9月中旬 : 学内説明会の広報
 - 掲示版への掲示
 - 慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)博士助成金採択者へのメール連絡
- ・平成26年10月8日 : 学内説明会(約100名参加)
 - ID・パスワード配布
 - 実際の入力デモを含む説明



学内説明会:平成26年10月8日

【説明会以降】

- ・平成26年10-11月: 説明会欠席者への登録依頼(社会人学生への郵送含む)
- ・平成27年1月: 未登録者に対する再度の登録依頼
- ・平成27年4月: 平成27年4月入学者(62名)へのID・パスワード配布(指導教員経由)

⇒平成27年5月現在、ID受領学生362名中227名(63%)が基本情報登録

1. 学内サービス提供と連携した登録依頼 ⇒ 登録率向上
2. 修了者認定(フラグ付与)の推進 ⇒ 修了後キャリア動向調査の実施(2015年11月予定)
3. 参加大学・参加研究科・登録学生の拡大
⇒ 博士人材の活躍状況の
網羅的把握・可視化
(JGRAD構築目的の達成)



エビデンスに基づく大学院教育・博士人材支援施策の効果の検証
より効果的なカリキュラム・人材施策による大学・学生の受益の増大

博士人材データベース(JGRAD)へのご参加・ご協力、よろしくお願いいたします！

ログイン

科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

トップページ
お知らせ
お問い合わせ

言語の選択：
日本語 ▼

博士人材データベースへようこそ

科学技術・学術政策研究所では、文部科学省の科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業の一環として、博士人材データベースの構築を進めています。博士人材データベースは博士課程修了者のキャリアパスの把握を目的としており、大学等の関連機関からの情報提供や協力を得て、設計を行っています。

National Institute of Science and Technology Policy

COPYRIGHT © 2014 NISTEP - National Institute of Science and Technology Policy, ALL RIGHTS RESERVED.
Powered by NetCommons2 The NetCommons Project

<http://www.nistep.go.jp/research/jgrad>